

高校生相互派遣・交流事業 平成 29 年度インドネシア・東ジャワ州コース 研修報告

実施主体：大阪府国際課

実施期間：2017年8月6日(日)～2017年8月12日(月)

訪問先：大阪府の友好交流先であるインドネシア東ジャワ州

参加生徒：2年生2名・1年生1名 (+他校3名)



東ジャワ州州都スラバヤ市について

インドネシア第二の都市として日本企業も多く進出している。インドネシア初代大統領スカルノ氏の出身地であり、1945年の独立宣言後、イギリス軍や再植民地化を謀るオランダ軍との間に激しい攻防戦が繰り広げられた場所。「英雄の街」として知られる。

事前学習会 5回

- 7/8 インドネシアの文化・歴史に関する講義 (大阪大学菅原准教授)
- 7/12 インドネシア留学生へのヒアリング @大阪大学
- 7/13 大阪の観光・留学魅力についてヒアリング @大阪府庁
- 7/14 インドネシアの経済事情及び貿易等経済関連の講義 @日本貿易推進機構 (JETRO) 大阪本部
- 7/18 インドネシアと日本との関係についての講義・総領事表敬訪問 @在大阪インドネシア総領事館



インドネシア総領事表敬訪問

派遣研修

1日目：8月6日(日)

- 7:00 関西空港集合・出発 (香港経由)
- 19:30頃 インドネシア・スラバヤ国際空港着 (ここから現地時間)



インドネシア料理

2日目：8月7日(月)

- AM 在スラバヤ日本国総領事館表敬訪問
谷総領事及び柏原領事との懇談・・・スラバヤや、外交官として働くこと、海外で働くことについて質疑応答
- PM 現地日系企業「Yahata Manufacturing Indonesia」訪問
(大阪府八尾市に本社。ネジやボルトを製造)
日本人スタッフ、インドネシア人スタッフへ質疑応答



現地日系企業にて

3日目：8月8日(火)

- AM 東ジャワ州政府表敬訪問
研修の意気込み等英語で発表
- PM スラバヤ市営の語学センター「Rumah Bahasa」訪問
大阪紹介のプレゼンテーション実施&質疑応答



東ジャワ州政府庁舎にて



4日目：8月9日(水)

AM トリモルティ高校訪問 大阪紹介のプレゼンテーション&質疑応答

現地生徒との交流



伝統舞踊による歓迎



岸高生によるプレゼン

PM 「英雄の塔」博物館訪問 *インドネシア独立を記念して作られた塔

日本占領時代や 1945 年の独立に関する出来事等の資料見学



ゲーム等で交流



5日目：8月10日(木)

AM シドアルジョ第二高校訪問 大阪紹介のプレゼンテーション&落語や歌の紹介

現地生徒との交流



PM ムプ・タントゥラル博物館見学

6日目：8月11日(金)

スラバヤ国立大学訪問 大阪紹介のプレゼンテーション

日本語専攻の学生との交流



大阪もんの歌紹介



授業に参加

バティック*作り体験 (*伝統のろうけつ染めの布地)

バティック作り体験

7日目：8月12日(土)

8:30 スラバヤ国際空港発 (香港経由)

21:10 関西国際空港着・解散



モスク



街の様子



研修を通して：

今回の研修では、生徒は本当に多くの人と触れ合うことができた。事前学習においては、大阪大学に留学するインドネシア留学生や在大阪インドネシア総領事など日本に住むインドネシア人の人にお会いし日本の印象などを伺うことができた。派遣研修中は、現地高校や大学の学生と英語や日本語で交流することができた。現地高校では、お互いの高校生活のことを話し合ったり、日本のアニメのことで盛り上がるなどした。生徒にとっては、遠い国の学生が自分たちの文化に興味を持ってきていること、そして日本の高校生を非常に歓迎してくれていることが印象に残ったようである。また、日本国総領事館や現地日系企業では、海外で働く日本の方から様々なお話を伺うことができた。生徒の感想からは、海外、つまり異文化の中で働く場合には相手の文化を尊重する姿勢が大切だというお話が印象に残ったようである。総領事からは、インドネシアの人は時間におおらかということもあり、相手の習慣に習うことが大切である、というお話をしていた。現地日系企業の方は、インドネシア以外にも中国やタイに駐在経験のある方で、異文化の中で、生産性を上げるためいかに現地の人を動かしていくかが大変というお話を伺った。また、アジアを経験すると逆に日本は何もかもが順調すぎてつまらないというお話も生徒は関心を持って聞き、質問をしていた。

研修を通じて、異文化にも触れることができた。早朝からコーランが聞こえてきて目が覚めること、お祈りの部屋が企業や学校などどこにでもあること、お手洗いの習慣が違うこと、そして時間に対する感覚が違うことなど、短い滞在期間ながら様々な違いを体験することができた。また、水道の水が普通に飲めることや、公共交通機関が安全であることなど、日本の常識が世界の常識ではないことも体験する良い機会となった。今回の研修を通じて、海外への興味と日本をより客観的に見る視点の素地ができてくれていれば嬉しく思う。

プレゼンテーションの場も生徒にとって貴重な体験であった。研修中に大阪についてのプレゼンテーションをする機会が計4回あった。事前準備の段階から、どうすればインドネシアの学生に楽しみながら大阪のことを知ってもらえるか生徒なりに考え、クイズを用意したり、インドネシアで有名なアニメの話盛り込むなど工夫していた。準備段階からかなり完成度の高いものではあったが、現地で回を重ねる毎にオーディエンスを巻き込んだより良いプレゼンテーションをすることができた。また、プレゼンに対する質疑応答では、現地学生の質問に即興で英語で答えることが求められ、英語コミュニケーションの良い訓練の場となった。